

巖木中学校 学校便り

新 生徒会長
坂井 央祐さん

令和3年1月12日



巖木中教育目標

「主体的、協働的に取り組む生徒の育成」

文責:校長 古舘洋治

1 第3学期 始業式 1月12日(火)

令和三年 新年あけまして

おめでとうございます。

8日は積雪のために臨時休校になりましたが、本日は、天気も良く、みんな元気に登校してくれたことを嬉しく思います。

令和二年は、「新型コロナウイルス」が世界的に大流行し、今でもその勢いは衰えません。感染予防のために休校もありました。不足した授業を確保するために夏休みが短くなりました。現在、佐賀県でも感染者数が増加しています。今まで以上に、十分気をつける必要があります。

- ①「発熱」「せき」の症状がある人は、病院で受診。無理して登校しない。
- ②毎朝の検温を忘れずに行う。
- ③手洗い手消毒を小まめに行う。
- ④マスクは基本的に着用して、必要に応じて外す。



学校でも家庭でも、常に心がけましょう。感染者が出たりすると行事などの自粛も…油断することなく注意してほしいと思います。特に3年生は、受験が始まります。感染しないよう特に注意してほしいと思います。

さて、「一年の計は、元旦にあり」と言いますが、令和三年のスタートにあたって、みなさんは何を決意しましたか。3年生は、「志望校に合格」「〇〇高校で…」でしょうし、1・2年生は、「勉強や部活動の目標」を設定した人も多いことでしょう。

「初心忘るべからず」世阿弥(能楽者)の言葉です。初心を忘れてはならないということですね。肝心なのは、「それを実行、そのための努力ができるか」です。

「高い目標を完遂する過程を通じて人間は成長する」という言葉があります。目標に向かって最大限の努力をしてください。できた・できないではなく、達成に向けての過程が大切です。そこに成長があります。

厳しい寒さが続いています。この寒さがないといけないうものがあります。それは、春になると華やかに花を咲かせるチューリップです。チューリップは、球根を秋から冬にかけて植え込みます。厳しい冬の寒さを経験しないと、あの見事な花は咲かないそうです。時期を考えて、わざと冷蔵庫で寒さを経験させることも…。寒いからといって覆いを掛けたり、暖かな部屋に置くと、葉は茂りますが、立派な花は咲かないそうです。



もう一つ…お花の話で…

タンポポはとても生命力が強い植物です。どんなにかんかん照りでも、どんなに人に踏まれても決して枯れたりしません。とても我慢強い植物です。その秘密はどこにあると思いますか。そうです。根っこにあるんです。草丈が14cmほどで、根の長さが50cm~なかには1mにもなるタンポポもあるそうです。このタンポポを掘るのにとっても苦労します。根が深いので何回も途中で切れてなかなか掘り出せません。タンポポはどんなにつらい状況になろうともじっと我慢して花を咲かせます。



それはこのようにしっかり地下深く根を張っているからです。

この二つの花と人間の成長も同じことが言えるのではないかと思います。

社会の中で、成功を収めた人や立派な業績を残した人は、ほとんど例外なく、多くの課題や苦境を乗り越えています。辛くても努力を重ねたり、いろんな困難を乗り越えたりして、人として成長を遂げ、成功しています。

時には厳しい状況が、たくましく育ててくれる。自分に厳しくあってほしいと思います。

学校だよりNo.16でも紹介しました。「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ！やがて大きな花が咲く！」この言葉は、シドニーオリンピックで金メダルを取った高橋尚子選手の座右の銘です。よい結果を出せずに大変苦しんでいた時に、陸上部監督から贈られた言葉です。

3年生の中には、入試に向けて努力しているにもかかわらず、なかなか結果が出ずに焦ったり、心配になったりしている人もいるかもしれません。1・2年生も勉強や部活動など何かにつけ、そんな時があると思います。そんな時は、この言葉を思い出し、大きな花を咲かせるために、下へ下へと大きな根を伸ばし続けてください。入試とか試合では誰も助けてくれません。自分で考えて実行する力が問われます。

ただ勘違いしないでほしいのは…

いじめとか嫌な思いを我慢することはないです。「いじめのない学校」にしたいです。そのために何をしたらいいかは、先生たちも考えます。生徒会のみなさんも、生徒の皆さんも「どうすればよいか」一緒に考えましょう。そして、「やりたいことを頑張れる、頑張っている人を応援できる巖木中学校」にしていきましょう。



今年一年、悔いを残さないよう、自分のために、自分に厳しく、自分を育てましょう。

2 新学習指導要領全面実施！

(令和3年4月から)

文部科学省が約10年ごとに改定する「学習指導要領」が、小学校では今年度から、中学校では令和3年度から完全実施となります。保護者の皆様には、これまでに文部科学省から解説されたリーフレットが配付されたりもしています。

本校では、新学習指導要領の完全実施へ向け、すでに特別の教科である道徳の時間について、全教職員で「考え、議論する道徳」を様々な指導方法を取り入れて行っています。今年度の通知表には、今年一年間の道徳の時間の評価を記入します。新しい学習指導要領の詳細は、文部科学省のHPに詳しく動画等で紹介されていますので、ぜひご覧ください。なおQRコードを掲載していますので、どうぞご活用ください。





公演中のAKB48の黒須遥香さん。2019年12月、東京都内（画像の一部を加工しています）。© AKB48

大学受験 挑む君たちへ

上

AKB48 黒須遥香さん 暗闇でも自分を信じて

本格的な受験シーズンが到来する。これまで培ってきた力を磨き上げる直前期は、不安や苦しさがつきもの。先輩たちはどう立ち向かい、進んでいったのか。さまざまな世界で活躍するかつての受験生に、自身の体験や応援メッセージを語ってもらった。

ただでさえ、合格できるのか不安な毎日。さらに今回は大学入試センター試験から大学入学共通テストに形が変わり、新型コロナウイルスの影響も。初めてのことはかなりで、受験生は本当に大変な状態だと想像します。

2度目の挑戦で2020年春、第1志望の国立大に進学できました。支えになったのは、ファンのみなさんの温かい声援。合格祈願の神社巡りをしてくださった方までいます。頑張っただけで恩返しをしたい。そのため一秒も無駄にしないと決めて、公演の合間や移動中にも単語帳を開きました。

苦手だったのは数学。だからこそ、数学だけは仕事がある日も含めて毎日欠かさず勉強しました。点数が低いのは、伸びしろがあるということ。前向きに

考えました。

試験本番は体調が優れず焦りました。でも家族が持たせてくれたチョコレートの包みに「自分を信じて」と書いてあって。すっと目の前に集中できました。合格の知らせを聞いたとき、私はほっとして放心状態だったんですが、家族は泣くほど喜んでくれました。

アイドル活動と受験、どっちつかずにならないか。悩んだ時にグループのスタッフの方が「勉強を一生懸命やっただけ、成長した姿でステージに立てると背中を押してくれました。確かに受験を機に、自分の頭で「グループのために何ができるか」を考えられるようになりました。

AKB48の楽曲「ここがロドスだ、ここで跳べ！」に「暗闇でジャンプしろ！」という歌詞が出てきます。受験はまさに真っ暗な中を手探りで進むようなもの。それでも自分の頑張りを信じて、思いっきり力を振り絞れば、きっと結果につながっていくと思えます。

くろす・はるか 2001年生まれ。埼玉真出身。アイドルグループAKB48のチーム4に所属する16期生。グループは20年12月に15周年を迎え、21年1月22、24日に東京ドームシティアールでライブを開催。詳細は公式ホームページで確認できる。